

日本農業市場学会 Newsletter

●発行：日本農業市場学会事務局

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-24

鹿児島大学農学部 食料農業経済学コース 気付

TEL/FAX：099-285-8627 (研究室直通)

E-mail：yutaka@agri.kagoshima-u.ac.jp

Contents

- 2018年度大会案内 (第2報)
- 2018年度大会個別報告・セッションの募集について
- 学会賞の推薦について (再)
- アドバイザー制度の利用について
- 『農業市場研究』への投稿について (注意喚起)

2018年度大会案内 (第2報)

2018年度大会は、琉球大学農学部にて、以下の日程・内容で開催します。

◆ 日程

2018年7月6日 (金)：各種委員会 (15:00~16:30)、理事会 (16:30~)

7月7日 (土)：シンポジウム、総会、理事選挙、懇親会

7月8日 (日)：個別報告、セッション

◆ シンポジウム概要

日時：7月7日 (土) 9:00~17:00

会場：琉球大学 農学部 大講義室 (207室)

テーマ：観光振興と地域農業・食料市場

座長：玉真之介 (徳島大学)・藤田武弘 (和歌山大学)

タイムスケジュール

開会行事	9:00~ 9:10 (10分)
座長解題	9:10~ 9:25 (15分)
第1報告「観光のスタイル変化と地域農業・食料市場 (仮)」	9:25~10:05 (40分)
藤田武弘 (和歌山大学)	
第2報告「北九州地方における食料・農業観光事業 (仮)」	10:05~10:45 (40分)
森高正博・劉然・福田晋 (九州大学)	
第3報告「北海道における観光業と農業 (仮)」	10:45~11:25 (40分)
今野聖士 (名寄市立大学)	

総会、理事選挙	11:25～12:20 (55分)
昼食休憩	12:20～13:10 (50分)
第4報告「観光と6次産業化(仮)」	13:10～13:50 (40分)
加力謙一(あいあいファーム代表)	
コメント 越智正樹(琉球大学)	13:50～14:10 (20分)
中尾誠二(福知山公立大学)	14:10～14:30 (20分)
休憩	14:30～14:40 (10分)
ディスカッション	14:40～16:40 (120分)
座長まとめ	16:40～16:55 (15分)
副会長閉会あいさつ	16:55～17:00 (5分)

◆ シンポジウム趣旨

いま観光業がわが国の産業として大きく成長しつつある。外国人観光客は、計画を上回る勢いで伸びている。人口減少に悩む地方の自治体にとっては、交流人口を増やす有力な手段であり、地域のブランド化と観光振興が一体化して進められている。それは地域農業にも、食料市場にも、新しい可能性と対応を生み出している。

本シンポジウムでは、観光業が今後も成長するという見通しに立って、それが地域農業・食料市場に与える影響と、それへの市場対応のあり方や課題について議論を深めたい。

かつて日本は加工貿易立国を掲げ、食料とエネルギーを輸入し、工業製品を輸出して経済成長を遂げた。製造業は地方にも分散立地し、それが兼業先となって1980年までの農村・農家の所得向上に貢献した。しかし、プラザ合意以降の円高がこの構造を変えた。円高は、同時進行のグローバル化と合わせて、物価を引き下げ(デフレ経済)、農村進出企業も海外へ移転した。結果、農村・農家に後継者を留める力が急速に弱まり、高齢化と後継者不足、荒廃地増加、農家数の減少が急速に進展している。

しかし、日本経済は労働人口の減少とともに製造業の輸出で稼ぐ国からサービス産業を中心とした成熟経済へ移行してゆき、その中で観光業は間違いなく成長していく。しかも、観光自体が従来までのマストツーリズムから新しいスタイルに変化しつつあり、それと合わせて農村景観や食事、農業体験、農産加工品などが一段と重要なアイテムとなりつつある。こうして地域農業・食料市場と観光業の関係も広がるとともに、地方の雇用増加をもたらす可能性も高まっている。ただし、それは観光意識の変化や外国人観光客の増加、さらに情報化の進展や競争の激化は、新たな課題や新しい対応を求めている。

本シンポジウムでは、第1報告では観光業と地域農業・食料市場との関わりについての総論を、第2報告では北九州的の事例報告を、第3報告では北海道の概況報告を、第4報告では、沖縄における実践報告をお願いした。この報告を踏まえて、テーマについてディスカッションをしたい。

2018年度大会個別報告・セッションの募集について

以下のとおり、会員のみなさまからセッション、個別報告を募集いたします。希望される方は期日までに必要事項を企画委員会事務局(後掲)までご連絡ください。

◆ 個別報告・セッションの申し込み（エントリー）

○締切 **2018年5月11日（金）** ※E-mail で企画委員会事務局必着

◇ **個別報告**へ申し込む際の必要連絡事項

- ① 報告者氏名および所属
- ② 報告タイトル
- ③ スライド（PDF ファイルのみ可）使用の有無

◇ **セッション**へ申し込む際の必要連絡事項

- ① 座長（コーディネーター）の氏名・所属
- ② 全体テーマと趣旨（個別報告要旨と同様の様式）
- ③ セッション内で行う報告のタイトル、報告者氏名・所属、コメンテーターをつける場合にはその氏名・所属
- ④ スライド（PDF ファイルのみ可）使用の有無

※セッション形式について

- ・セッションは共通テーマの下で座長を立て、2～4 報告を行い、総合討論するものです。コメンテーターをつけることも出来ます。
- ・セッションでの報告は個別報告の一部として取り扱い、個別報告の時間帯に組み込んで行います。セッション内のすべての報告の終了後、1 報告分の時間で総合討論を行います（コメントを含む）。また、セッション内の報告についても、報告論文として投稿することができます。
- ・座長、報告者ともに本学会の会員である必要があります。

◆ 個別報告・セッションの報告要旨の提出

○締切 **2018年5月31日（木）** ※E-mail で企画委員会事務局必着

◇ 提出書類

学会ホームページの「個別報告要旨（様式）」に従って作成してください。

※学会ホームページのアドレス：<http://amsj.jp/>

※用紙：A4 版横書き用紙 1 枚以内（1,000 字程度）

※内容：報告タイトル（ゴシック体 10.5 ポイント太字、中央寄せ）

報告者氏名（明朝体 10.5 ポイント、中央寄せ）

所属（（ ）内に明朝体 10.5 ポイント、中央寄せ）

報告要旨本文（明朝体 10.5 ポイント）

※提出方法：MS-Word 形式のファイルを E-mail 添付で提出してください。

◆ 申し込みにあたっての注意事項

- ・報告時間は、1 報告 20 分、質疑 10 分を予定していますが、報告者の数によっては変更することもあります。あらかじめご承知おきください。
- ・会費を滞納している会員は、個別報告やセッションに申し込むことができません。また、報告の代表者だけではなく、連名で報告される会員すべてについて、会費を納入していることが条

件となります。

- ・大会後に報告論文の投稿を検討されている方は、以下の点に特にご注意ください。投稿規程（2015年12月改正）によれば、報告論文のタイトルおよび執筆者（順）は、原則として個別報告等（要旨集掲載）のタイトルおよび報告者（順）とすることになっていますので、よろしく願います。
- ・個別報告・セッションの領域が本学会の目的（会則第2条「農業・食料に関わる諸市場の理論的・実証的研究」）にふさわしくないと判断される場合は、セッションあるいは個別報告をお断りすることがありますので、あらかじめご承知おきください。
- ・メールで報告申し込み（5月11日締切）を行なう際は、メールタイトルを必ず「氏名（日本名および外国名の方で漢字やカナ表記を希望される場合は日本語で、その他の外国名の方はアルファベットで）：市場学会個別報告申し込み」として下さい（例「磯田宏：市場学会個別報告申し込み」）。セッション申し込みの場合は、「氏名：市場学会セッション申し込み」として下さい。

また報告要旨提出（5月31日締切）を行なう際は、メールタイトルを「氏名：市場学会個別報告要旨」と記して下さい（例「磯田宏：市場学会個別報告要旨」）。セッションの場合は「氏名・市場学会セッション報告要旨」として下さい。

メールタイトルが以上のようにない場合、受け付け漏れが生じる危険がありますが、その責任は企画委員会事務局では負いかねます。

- ・報告要旨は、上記の学会ホームページにある様式に厳密に従って作成して下さい。それ以外のもは受け付けができない、したがって個別報告ができないことがあります。
- ・個別報告の時間帯、場所、順序、会場などの決定は、全てを企画委員会事務局にご一任下さい。

○申込先（問い合わせ先）：企画委員会事務局

日本農業市場学会企画委員会事務局 磯田 宏 (ISODA, Hiroshi)

申込先 E-mail: isodanousei@yahoo.co.jp

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院農学研究院

TEL：092-642-2963（直通）

学会賞の推薦について（再）

2018年度の日本農業市場学会賞（学会賞・学会奨励賞）の推薦を2018年2月末日締切で受け付けていましたが、推薦がなかったため、締切を4月末日まで延長します。積極的な推薦をよろしく願います。

（学会賞選考委員会委員長 小野 雅之）

(1) 受賞候補の条件

◇日本農業市場学会賞

2015年1月1日から2017年12月末までに公刊された学術論文または単行本。本学会会員であれば候補者の年齢は問わない。

◇日本農業市場学会奨励賞（川村・美土路賞）

2016年1月1日から2017年12月末までに公刊された学術論文または単行本。ただし、2018年4月1日時点で満40歳未満の会員に限る。

(2) 学会賞候補を推薦できる者 1名ないし複数名の本学会会員

(3) 推薦の方法

推薦者から学会賞選考委員長にあてに、A4用紙に横書きで下記の事項を記載の上、提出する。

- ① 選考対象の論文名又は単行本名（いずれも発行所、発行年月日、論文の場合は掲載誌の名称・巻号を記載）
- ② 受賞候補者の氏名
- ③ 候補者の所属機関
- ④ 候補者の略歴
対象の業績が複数、または業績が共著であり審査対象者が複数の場合、①または②～④を繰り返して記入すること
- ⑤ 同論文または単行本の要約（2,000字以内）
- ⑥ 推薦者
- ⑦ 推薦理由

(4) 推薦状および対象論文（単行本）提出先

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学農学部 食料環境経済学講座
小野 雅之 宛

★対象となる論文および単行本3部を送付してください。

(5) 推薦締め切り

2018年4月末日消印有効

アドバイザー制度の利用について

若手会員研究者の『農業市場研究』誌投稿用の学術論文作成を支援する目的で新設されたアドバイザー制度の利用を開始しました。利用の仕方については学会ホームページをご覧ください。

『農業市場研究』への投稿について（注意喚起）

『農業市場研究』は、会則2条にある「農業・食料に関わる諸市場の理論的・実証的研究」の発展に資すると判断される論文を審査対象としていますので、そう判断されない投稿論文を学会誌編集委員会は差し戻すことがあります。投稿に際しては十分に注意してください。